

科目名	サブタイトル	担当教員	配置学年
観光地理	日本の観光地と観光資源	有馬 貴之	1 年次前期
講義の目的	日本には多くの観光地や観光資源が存在します。それらは観光客を引き寄せ、経済を潤す源でもあります。観光地や観光資源を適正に運営・管理していくためにも、観光地や観光資源が国内の「どこ」にどれだけあるのかを理解する必要があります。本講義では日本の観光地や観光資源についての学び、知識を深めることを目的とします。日本の観光地について深く知ることができれば、自分自身で旅行先を柔軟にプランニングすることができるでしょう。本講義は旅行業務取扱管理者資格（国内）の受験対策としても位置づけられます。		
到達目標	本講義の到達目標は以下の3点です。 <ul style="list-style-type: none"> ・日本各地の観光地や観光資源を把握できる。 ・自分オリジナルの旅行企画を立てることができる。 ・旅行企画を相手に対し、説明することができる。 		
講義内容	様々な地域をそれぞれに理解する時には、各地域がどんな特徴を持っているのか、また何故その場所に位置しているのかを考えることが重要です。本講義では、日本の観光地を対象にして、その位置や資源性を学んでいきます。例えば、観光地となっている温泉地は日本のどの地方に多く、寺社仏閣はどの地方に多いでしょうか。本講義では反転授業というスタイルをとることも特徴です。受講生には動画等による予習が求められます。		
講義スケジュール	第1講	イントロダクション（観光地理と反転授業）、北海道1：道南・道央	
	第2講	北海道2：道北・道東、東北1：青森・岩手	
	第3講	東北2：秋田・宮城・山形・福島	
	第4講	関東1：茨城・栃木・群馬・埼玉	
	第5講	関東2：千葉・東京・神奈川・山梨	
	第6講	北陸：新潟・富山・石川・福井	
	第7講	中部：長野・岐阜	
	第8講	東海：静岡・愛知、近畿1：三重・滋賀	
	第9講	近畿2：京都・奈良・和歌山	
	第10講	近畿3：大阪・兵庫、中国1：岡山	
	第11講	中国2：鳥取・島根・広島・山口	
	第12講	四国：徳島・香川・愛媛・高知	
	第13講	九州1：福岡・佐賀・長崎・熊本	
	第14講	九州2：大分・宮崎・鹿児島・沖縄	
	第15講	まとめ	
方法指導	本授業は演習形式で進めます。すなわち、受講者一人一人の自発的な学習意識が必要となります。また、予習動画を視聴する必要がありますので、スマートフォンやパソコンなどのネット環境が個々の学生に必要となります。適宜授業中に資料を配布します。		
授業外学習	本授業は反転授業の形式を用います。そのため以下の事前学習と事後学習が必要となります。 <ul style="list-style-type: none"> ・事前学習：提供された予習動画の視聴に基づく勉強 ・事後学習：他の学生が考えたツアー企画等の場所や資源の勉強 		
成績評価方法	成績は以下の3つで評価します。 平常点（授業内テスト）40%、平常点（授業内の演習への取り組み・発表）30%、本試験（筆記試験）30%		
テキスト	『旅行業務取扱管理者シリーズ TEXT 4 国内旅行実務Ⅱ〈観光地理〉』TRAVEL JOURNAL(株式会社トラジャルウエスト)		
書籍参考	『日本を旅する大旅行地図帳』平凡社		
事項特記	本授業では反転授業の形式を取ります。具体的には、授業前の予習として、オリジナルに作成された日本の観光地を紹介する予習動画をスマートフォンやパソコン等で予習していただく必要があります。そのため、受講生には予習動画を視聴するネット環境が求められます。		